

平成29（2017）年度
事業報告書

自 平成29（2017）年 4月 1日
至 平成30（2018）年 3月31日



公益財団法人 日本盲導犬協会

横浜市港北区新吉田町6001-9
TEL:045-590-1595 FAX:045-590-1599

I. 公益目的事業

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

本年度、51頭の盲導犬を育成し、53ユニットの視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施した。

53ユニットの内訳は、神奈川訓練センター（以下、神奈川センター）25頭25ユニット、仙台訓練センター（以下、スマイルワン仙台）10頭10ユニット、日本盲導犬総合センター（以下、富士ハーネス）10頭10ユニット、島根あさひ訓練センター（以下、島根パピネス）6頭8ユニット。代替が26頭28ユニットで、新規が25頭25ユニットであった。

登録番号	盲導犬使用者		盲導犬			卒業年月日	新規
	性別	都道府県	犬種	色	性別		代替
日本-799	女	岡山県	LABR	Y	雌	2017年4月1日	新規
日本-800	女	神奈川県	LABR	Y	雄	2017年4月2日	新規
日本-801	男	東京都	GLDR	G	雄	2017年4月5日	新規
日本-802	男	東京都	LABR	B	雌	2017年4月29日	新規
日本-803	男	富山県	LABR	Y	雌	2017年5月2日	代替
日本-804	女	神奈川県	LABR	B	雌	2017年5月2日	代替
日本-805	男	山梨県	LABR	Y	雌	2017年5月4日	代替
日本-806	男	神奈川県	GLDR	G	雄	2017年5月6日	新規
日本-807	男	島根県	LABR	Y	雄	2017年5月12日	代替
日本-808	女	宮城県	GLDR	G	雌	2017年5月19日	代替
日本-809	女	宮城県	LABR	Y	雌	2017年5月22日	新規
日本-810	女	千葉県	LABR	B	雌	2017年6月3日	代替
日本-811	男	神奈川県	LABR	Y	雄	2017年6月8日	代替
日本-812	男	千葉県	LABR	Y	雌	2017年6月9日	代替
日本-813	男	広島県	LABR	Y	雄	2017年6月17日	代替
日本-814	男	宮城県	LABR	B	雄	2017年6月30日	新規
日本-815	男	山形県	LABR	Y	雄	2017年7月3日	新規
日本-816	女	長野県	LABR	B	雄	2017年7月7日	新規
日本-817	女	神奈川県	GLDR	G	雌	2017年7月7日	代替
日本-818	女	東京都	LABR	Y	雌	2017年7月8日	新規
日本-819	女	千葉県	LABR	B	雌	2017年7月14日	代替
日本-820	女	宮城県	GLDR	G	雌	2017年8月16日	新規
日本-821	女	神奈川県	LABR	B	雄	2017年8月31日	新規
日本-822	女	宮城県	LABR	B	雄	2017年9月22日	代替
日本-823	男	新潟県	LABR	B	雄	2017年10月4日	新規
日本-824	男	広島県	LABR	B	雄	2017年10月23日	代替
日本-825	女	広島県	LABR	B	雄	2017年10月26日	代替

日本-826	女	神奈川県	LABR	B	雌	2017年10月26日	代替
日本-827	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2017年10月31日	代替
日本-828	女	茨城県	LABR	Y	雌	2017年11月3日	代替
日本-829	男	岩手県	LABR	B	雄	2017年11月4日	新規
日本-830	女	青森県	LABR	Y	雄	2017年11月10日	代替
日本-831	女	宮城県	LABR	Y	雌	2017年11月10日	新規
日本-832	男	神奈川県	LABR	Y	雄	2017年11月13日	新規
日本-833	男	神奈川県	LABR	Y	雄	2017年12月1日	代替
日本-834	女	東京都	LABR	Y	雌	2017年12月7日	代替
日本-835	男	群馬県	GLDR	G	雄	2017年12月8日	代替
日本-836	女	千葉県	LABR	B	雄	2017年12月10日	代替
日本-837	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2017年12月15日	新規
日本-838	男	山口県	LABR	B	雌	2017年12月18日	代替
日本-839	女	山口県	LABR	B	雌	2017年12月22日	代替
日本-840	男	山梨県	GLDR	G	雄	2018年1月25日	代替
日本-841	女	東京都	LABR	Y	雌	2018年2月9日	新規
日本-842	女	東京都	LABR	Y	雌	2018年2月11日	新規
日本-843	男	埼玉県	LABR	Y	雄	2018年2月14日	新規
日本-844	女	東京都	LABR	Y	雌	2018年2月16日	新規
日本-845	女	神奈川県	LABR	Y	雄	2018年2月21日	新規
日本-846	女	千葉県	LABR	B	雄	2018年2月27日	新規
日本-847	男	東京都	LABR	B	雄	2018年3月2日	代替
日本-848	女	静岡県	LABR	B	雄	2018年3月23日	代替
日本-849	女	神奈川県	LABR	B	雌	2018年3月28日	新規
日本-850	男	東京都	LABR	B	雄	2018年3月29日	新規
日本-851	男	島根県	LABR	B	雄	2018年3月20日	代替

犬種：LABRはラブラドル・レトリバー、GLDRはゴールデン・レトリバー 色：Yはイエロー、Bはブラック、Gはゴールド

(2) 盲導犬の認定

本年度は、当協会以外の盲導犬認定は行っていない。

(3) 犬の飼育及び訓練

① 候補犬の訓練

本年度に訓練した候補犬は198頭で内訳は次のとおり。なお、この期間に訓練に加わった犬は、198頭の内129頭（入所）である。

訓練終了犬	合格犬（盲導犬）	51頭
	合格犬（繁殖犬）	9頭
	キャリアチェンジ犬	62頭
	計	122頭
訓練過程犬	未決定犬	76頭

②繁殖犬の頭数と繁殖状況

本年度に、雄1頭及び雌9頭（内：訓練犬（合格犬）9頭、外部購入雌1頭）を新たに繁殖犬として登録した。その結果、3月末現在で、雄15頭（2歳～8歳は14頭）、雌37頭（2歳～6歳は28頭）、計52頭の繁殖犬を保有している。なお、凍結精液は本年度協会内で作成した605本を含め5311本を保有している。本年度の出産頭数は125頭、他協会などから子犬を2頭譲り受けた。また他協会へ子犬を10頭譲渡した。

③パピーウォーカー委託状況

本年度に、新たにパピーウォーカー（以下、PW）に委託した頭数は122頭である。PWに対しては、スケジュールなどの共有を目的としたパピーカレンダーを3ヵ月に1回送付し、ワクチンや不妊手術、眼底検査の日程などスケジュール管理を計画的に行った。

④PWに対するしつけと飼育指導

家庭訪問及びしつけ指導は訓練士資格を有している者が中心に対応した。

PW家庭訪問は、神奈川センターで110回、スマイルワン仙台で44回、富士ハーネスで70回、島根パピネスで34回実施した。各訓練センターでしつけ指導（パピーレクチャー）を行い、神奈川センターで203回、スマイルワン仙台で55回、富士ハーネスで47回、島根パピネスで22回、計327回開催した。全センターでパピー評価とパピーの訓練導入を目的として、約1週間の「定期預かり訓練」を実施した。

島根あさひ盲導犬パピープロジェクトは、昨年度と同様6頭実施した。

⑤盲導犬の引退・ユニット解消状況

本年度に35頭、37ユニットの盲導犬が引退あるいはユニット解消した。

登録番号	盲導犬使用者		盲導犬			引退年月日	備考
	性別	都道府県	犬種	色	性別		
日本-487	男	富山県	LABR	Y	M	2017/4/17	
日本-472	男	山梨県	MIXB	Y	F	2017/4/17	
日本-528	男	岩手県	MIXB	Y	F	2017/4/23	
日本-460	男	島根県	LABR	Y	M	2017/4/30	
日本-480	女	宮城県	MIXB	Y	M	2017/5/1	
日本-476	女	島根県	MIXB	Y	M	2017/5/6	
日本-521	男	宮城県	MIXB	Y	M	2017/5/17	
日本-464	女	千葉県	LABR	Y	F	2017/5/22	
日本-463	男	千葉県	LABR	B	M	2017/5/22	
日本-456	男	神奈川県	LABR	Y	F	2017/5/22	
日本-676	男	広島県	LABR	B	M	2017/6/1	
日本-587	男	山形県	LABR	Y	F	2017/6/3	
日本-793	女	千葉県	LABR	B	M	2017/6/20	
日本-481	女	埼玉県	LABR	B	M	2017/6/24	
日本-467	女	神奈川県	MIXB	Y	F	2017/6/26	
日本-506	女	宮城県	LABR	B	M	2017/9/4	
日本-805	男	山梨県	LABR	Y	F	2017/9/30	
日本-493	女	青森県	MIXB	Y	M	2017/10/10	
日本-451	男	広島県	MIXB	Y	M	2017/10/10	タンデム

日本-452	女	広島県				2017/10/10	タンデム
日本-475	女	神奈川県	LABR	Y	F	2017/10/16	
日本-571	女	神奈川県	MIXB	Y	F	2017/10/16	
日本-503	女	茨城県	MIXB	Y	F	2017/10/22	
日本-498	男	群馬県	MIXB	Y	F	2017/11/20	
日本-532	女	東京都	MIXB	Y	F	2017/11/20	
日本-540	男	神奈川県	MIXB	Y	M	2017/11/20	
日本-508	女	千葉県	MIXB	Y	M	2017/11/28	
日本-512	男	山口県	MIXB	B	M	2017/12/7	タンデム
日本-523	女	山口県				2017/12/7	タンデム
日本-548	男	東京都	MIXB	B	M	2017/12/12	
日本-536	男	静岡県	MIXB	Y	M	2018/1/5	
日本-543	男	山梨県	MIXB	Y	F	2018/1/9	
日本-504	女	千葉県	MIXB	Y	M	2018/1/23	
日本-633	女	広島県	LABR	B	F	2018/1/24	
日本-518	女	静岡県	MIXB	Y	M	2018/3/5	
日本-500	女	茨城県	LABR	B	M	2018/3/19	
日本-560	男	島根県	MIXB	Y	M	2018/3/19	

⑥ 犬舎及び医療管理

予防医療としての犬舎内医療が定着し、常に疾病の早期発見が可能となった。治療に対しては、原因究明を徹底するため獣医師と連携し、早期治療に努めた。ケネルコフ等の対応や疾患の早期発見による医療管理体制も改善している。近隣の夜間救急病院と提携し医療体制をより充実させた。

⑦ 協会所有犬一覧

協会所有犬 一覧（平成30年3月31日現在）										
区分	性別	頭数	飼育管理							
			訓練センター				使用者・ボランティア			
			神奈川	仙台	富士宮	島根	神奈川	仙台	富士宮	島根
繁殖犬	雄	15	0	0	0	0	15	0	0	0
	雌	37	0	0	0	0	37	0	0	0
	小計	52	0	0	0	0	52	0	0	0
パピー		104	0	0	0	0	58	9	20	17
訓練犬		76	30	22	10	14	0	0	0	0
盲導犬	雄	126	0	0	0	0	51	33	24	18
	雌	121	0	0	0	0	64	26	20	11
	小計	247	0	0	0	0	115	59	44	29
引退犬		155	0	0	0	0	91	32	19	13
繁殖引退犬		44	0	0	0	0	40	1	2	1
PR犬		18	3	0	5	4	4	1	1	0
合計		696	33	22	15	18	360	102	86	60

(4) 盲導犬使用者（以下、ユーザー）に対するフォローアップ（以下、F U）

10月6日の50周年記念式典にあわせ全頭出発式を実施し182ユニットに対しF Uを実施した。またスマイルワン仙台では新潟県と山形県のユーザーに対し合同F Uをそれぞれ行い、主に雪道でのF Uを実施した。また、全拠点一貫したF Uを提供するため、各センターのF U部門を横断的に管理する担当を配置した。それにより協会全体のユーザー状況の可視化を図り、問題の早期発見早期対応が出来る体制を整備した。訪問型定期F Uは神奈川センターで107回、スマイルワン仙台で80回、富士ハーネスで76回、島根パピネスで46回、合計309回実施した。定期以外の問題解決型訪問F Uは神奈川センターで44回、スマイルワン仙台で23回、富士ハーネスで42回、島根パピネスで24回、合計133回実施した。

(5) 盲導犬訓練技術・育成技術の向上

指導効果を見える化し戦力分析を行うためのスキルマップ評価が定着。盲導犬訓練士（GDT）・盲導犬歩行訓練士（GDI）それぞれのスキルが着実に向上している。

より安全で快適な盲導犬歩行および盲導犬との生活を目指して、他犬種訓練、雪道歩行実地研修の実施、伸縮性バーハンドルの改良など行っている。また歩行補助機器としてレーザー型ライトを配布し、ソナー（障害物センサー）は実用研究を継続的に行っている。

(6) 各種研修会等への参加

神奈川センターで行われた全国盲導犬施設連合会主催の第3回盲導犬育成ジャパンセミナーに75名が参加、6題の口頭発表を行った。

川崎で行われた視覚障害者リハビリテーション大会に6名が参加するなど、リハビリ関連、獣医療セミナーなどの各種研修会に積極的に職員を派遣。また、外部講師を招きワークショップやノミ・ダニ対策など医療疾患や予防に係る勉強会を協会内で実施した。

(7) 施設整備

継続的に各訓練センターの犬舎施設の改修を実施。特にスマイルワン仙台では犬舎内の備蓄倉庫をリビングに改装し訓練犬がより人の暮らしの中で落ち着ける環境整備をした。

2. 盲導犬歩行指導員等育成事業

(1) 盲導犬歩行指導員・盲導犬訓練士の認定

全国盲導犬施設連合会が行った盲導犬訓練士等資格認定審査において、盲導犬歩行指導員審査に盲導犬訓練士2名が合格した。

准盲導犬訓練士2名の研修を継続、新たに採用した研修生3名は合格者無しとした。

視覚障害者生活訓練等指導者養成課程に準じて実施した白杖歩行指導員養成過程を職員6名が修了した。

3. 調査研究事業

(1) 盲導犬の人工繁殖・育種技術の導入

遺伝性疾患低減に向け家系図調査・分析に取り組んでいる。また、繁殖犬の稟性傾向分析を進めている。

(2) 共同研究・研究協力

盲導犬の成功率向上、健康面改善を目的に、大学獣医学部との共同研究を継続して行った。

4. ユーザーサポート事業

(1) 盲導犬歩行についての理解促進

盲導犬希望者に対し、体験歩行会（日帰り）と盲導犬説明会（1泊2日）を各センターで開催した。

体験歩行会は、関係団体とも連携し、神奈川センターで27回447名、スマイルワン仙台で48回105名、富士ハーネスで8回41名、島根パピネスで5回16名、計88回609名の視覚障害者が参加した。

盲導犬説明会は、神奈川センターで14回42名、スマイルワン仙台で6回15名、富士ハーネスで4回4名、島根パピネスで7回7名、計31回68名の視覚障害者が参加した。

(2) ユーザーコミュニケーション

ユーザー一人ひとりとのコミュニケーションをすすめるため、年1回ユーザーから定期報告を直接電話で聞き取り、ユニットの歩行状況、生活状況を把握し、訓練部へ情報共有した。

また、盲導犬が6歳になるユーザーを対象に、盲導犬6歳時コミュニケーション会を開催し、14名が参加した。

(3) 視覚障害者在宅生活指導（白杖歩行訓練等）

神奈川センター、スマイルワン仙台、富士ハーネス、島根パピネスにおいて、計249名に対し、846コマの訓練を行った。

(4) リハビリテーション相談

盲導犬希望者、在宅指導希望者、短期リハ希望者等118名に対し120回の相談に応じ、必要な助言等を行った。

(5) 短期リハビリテーション訓練

スマイルワン仙台、富士ハーネスにおいて合計6回の短期リハビリテーションを実施した。参加者は合計18名で、うち17名が新規参加者であった。当事者の地元に出向く出張型短期リハを岩手で実施し、2名が参加した。

また、中学生を対象にした短期リハビリテーションをスマイルワン仙台で実施し、5名が参加した。

(6) 視覚障害児キャンプ

スマイルワン仙台にて視覚障害児キャンプを実施した。6家族が参加し、視覚障害児は6名、家族含め合計15名参加した。うち新規参加者は4家族であった。

(7) 各種研修会への参加

川崎市で開催された視覚障害リハビリテーション研究発表大会で3名の職員が発表をした。

(8) 講師派遣

講師派遣の依頼を受け、支援者向け講習会を福島県で1回、山形県で2回、静岡県で15回、長野県で1回、計19回、539名に対して実施した。当事者向け講習会は岩手県で2回、福島県で2回、山形県で3回、宮城県で4回、静岡県で8回、茨城県で1回、岡山県で1回、広島県で1回、計22回、225名に対して実施した。

協会の自主事業として、震災避難者を対象にした講習会を2回、支援者向け講習会を1回実施した。また、ソフトバンク株式会社の協力を得てiPhone講習会を1回開催し、7名が参加した。

(9) パートナーズの発行

ユーザーをはじめとする視覚障害者への情報提供として「パートナーズ」を年4回発行した。

5. 啓発事業

(1) 盲導犬普及啓発街頭活動

多くの市民に実際に盲導犬をみてもらうことで、盲導犬(補助犬)の受け入れの促進と、視覚障害と盲導犬への理解をはかることを目的とし、「Heart to Heart」の精神で盲導犬普及啓発街頭活動を積極的に展開、盲導犬ユーザー・ボランティアと職員が一致協力して、各訓練センターが地域に根差した独自の活動を合計357回実施した。

① 神奈川センター	…… 105回
② スマイルワン仙台	…… 117回
③ 富士ハーネス	…… 44回
④ 島根パピネス	…… 91回

(2) 盲導犬普及商業施設活動

(i) デパート・スーパーでの「盲導犬ふれあい広場」の開催

商業施設の協力を得て、視覚障害と盲導犬への理解をはかることを目的とし、商業施設内において盲導犬普及啓発活動を合計98回実施した。

① 神奈川センター	…… 45回
② スマイルワン仙台	…… 26回
③ 富士ハーネス	…… 4回
④ 島根パピネス	…… 23回

(ii) 全国盲導犬施設連合会「全国盲導犬普及キャンペーン」への参加

全国盲導犬施設連合会主催の「全国盲導犬普及キャンペーン」に合計11回対応した。

① 神奈川センター	…… 10回
-----------	--------

② スマイルワン仙台	……	0回
③ 富士ハーネス	……	0回
④ 島根パピネス	……	1回

(3) 訓練センター外での実演・講演等

盲導犬や、身体障害者補助犬法・障害者差別解消法への理解促進のためにセンターで実施した実演・講演は計205回、社会貢献活動を実施した企業・団体での贈呈式は102回、合計307回実施した。

実演・講演

① 神奈川センター	……	82回
② スマイルワン仙台	……	55回
③ 富士ハーネス	……	30回
④ 島根パピネス	……	38回

贈呈式

① 神奈川センター	……	40回
② スマイルワン仙台	……	26回
③ 富士ハーネス	……	20回
④ 島根パピネス	……	16回

(4) 盲導犬小中学校キャラバン

次世代を担う子供たちに対して視覚障害と盲導犬への理解をはかることを目的とし、全国の小中学校訪問活動を中心とする盲導犬小中学校キャラバンを合計331回実施した。

① 神奈川センター	……	61回
② スマイルワン仙台	……	94回
③ 富士ハーネス	……	40回
④ 島根パピネス	……	136回

(5) 理解促進イベントの開催

各訓練センターで、盲導犬体験活動を通じた啓発イベントを開催した。

① 神奈川センター

北里大学メディカルセンター（埼玉県北本市）、神奈川県立こども医療センター（横浜市）、茨城県立こども病院（水戸市）、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（沖縄県南風原町）、聖マリアンナ医科大学病院（川崎市）、川崎市立多摩病院（川崎市）において計65回の動物介在活動（AAA）と動物介在療法（AAT）を実施すると同時に、医療機関への盲導犬ユーザーの盲導犬同伴への受け入れ促進と啓発活動を行った。

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の鉄道事業者の計8社に対して、盲導犬受け入れセミナーを計26回実施。全国の鉄道事業者37社が出席し「視覚障害者の安全な駅利用についてのシンポジウムを開催。視覚障害者への声掛けや案内方法についての理解促進を行った。

② スマイルワン仙台

「盲導犬受け入れに関するシンポジウム」を仙台市、福島市において計2回開

催した。交通事業者、医療、小売、飲食業関係者と行政に対して、盲導犬ユーザーをパネラーに含めたパネルディスカッションを行った。

また、商業施設、医療機関への盲導犬受け入れセミナーを計12回実施し、盲導犬ユーザーの盲導犬同伴への理解促進と啓発活動を行った。

③ 富士ハーネス

GW、(学校の)夏休み期間に特別イベントを、12月にキャンドルナイトを開催し、視覚障害と盲導犬についての理解促進を図った。

また、長野県、山梨県において計3回の首長訪問を行い、当該地域での盲導犬ユーザーの盲導犬同伴への理解促進と啓発活動を行った。

④ 島根パピネス

広島電鉄や伊予鉄道など鉄道事業者を中心に、盲導犬受け入れセミナーを計16回実施した。

(6) 見学会の開催

各訓練センター内で見学会を次のとおり実施した。

① 神奈川センター	見学会	4回	(参加者数	114人)
	団体見学会	32回	(参加者数	480人)
② スマイルワン仙台	見学会	6回	(参加者数	168人)
	団体見学会	28回	(参加者数	958人)
③ 富士ハーネス	見学会	通年	(参加者数	16,132人)
	団体見学会	195回	(参加者数	6,250人)
④ 島根パピネス	見学会	9回	(参加者数	186人)
	団体見学会	31回	(参加者数	850人)

(7) 広報活動

(i) メディア対応とPR活動

2016年度支援AC広告は、2017年6月30日で終了した。

メディアリリースを13回実施。メディア掲載回数は561回だった。

	神奈川センター 東京事務所	スマイルワン仙台	富士ハーネス	島根パピネス
新聞	71	70	56	44
テレビ	31	34	4	22
WEB	65	10	16	4
その他	94	19	16	5
合計	261	133	92	75

(ii) 会報誌「盲導犬くらぶ」の発行

A4版16ページの会報誌を、年4回(86号~89号)、合計200,210部、音声CD1,072部発行した。

(iii) 刊行物の企画・管理

メディア掲載をまとめたチャレンジの記録作成

(iv) 電子メディアの運営

① ホームページの運営

年間訪問者数476,033人。

創立50周年特別ページの開設、50周年記念誌（本誌）の電子版などコンテンツを新設。

② SNS、ブログ運営

フェイスブックフォロワー 2,503人、ツイッターフォロワー6,503人、アメーバブログでは156回の情報を配信した。

(v) 情報管理

SNS上での盲導犬に関する動画拡散を受け、メディア・一般から多数問い合わせがあり、これに対応した。

6. 関係団体協力事業

(1) 日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会との協力

ユーザーの会主催の総会、盲導犬歩行ワークショップ開催への支援・協力を行うことにより、ユーザーとの協力・連携を深めた。また、各センターで慰霊式を開催し、多くの盲導犬ユーザー、ボランティアの参加を得た。

(2) 全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク（以下、AGBN）、その他補助犬団体への協力

① 全国盲導犬施設連合会の「理事会」の理事長、「運営委員会」「訓練士認定委員会」の委員として連合会の運営に貢献した。第3回盲導犬育成ジャパンセミナーを主管団体として開催した。

② 全日本盲導犬使用者の会との話し合いに参加した。

③ AGBNの運営・実務者会議へ出席し、他の育成団体との情報交換、繁殖協力を行った。AGBN加盟団体が共同で実施している犬の行動評価GDBart・BCLテストを実施。評価データを利用して「AGBN盲導犬改良システム」が発表された。

(3) 日本盲人社会福祉施設協議会、日本盲人福祉委員会、日本動物病院福祉協会、視覚障害リハビリテーション協会、日本身体障害者補助犬学会、日本介助犬協会、聴導犬育成団体、県市社会福祉協議会等への協力

① 日本盲人社会福祉施設協議会の理事として協議会運営に貢献。「施設における虐待防止・差別解消対応実践解説書」の執筆・編集協力。盲導犬委員会主催の第2回盲導犬訓練基準検討会を開催した。

② 日本盲人会連合主催「駅ホーム安全問題意見交換会」「ホーム上の安全歩行シンポジウム」「視覚障害者の生活訓練のあり方を考えるシンポジウム」に参加協力した。

③ 日本介助犬協会の評議員として貢献。また、普及活動に協力した。

④ 視覚障害リハビリテーション協会および日本身体障害者補助犬学会の事務局運営に貢献するなど、各種団体との連携を深め広く協力体制を整えた。

⑤ 国土交通省主催「駅ホームの安全性向上検討会」「新型ホームドア対応に関する調査検討会」に委員として参加。総務省「盲導犬ユーザーの各種施設等における受入れの

実態や課題等」に係る情報収集に協力した。

(4) 国際盲導犬連盟（IGDF）への協力

IGDFの理事および査察員としてIGDFの運営に貢献した。創立50周年式典にIGDF理事長の出席があった。

(5) 諸外国の盲導犬施設との交流

ドイツの盲導犬協会と繁殖協力関係を強化した。
ニュージーランド介助犬協会と子犬2頭を交換した。

7. その他

(1) 創立50周年事業の実施

- ① 日本盲導犬協会50周年記念誌「盲導犬と歩く」別冊「ユーザーは語る」を各2500冊作成し関係各所へ配布した。
- ② 10月6日に京王プラザホテルにおいて「50周年記念式典」を開催。出席者600名、うち盲導犬ユーザー182人、盲導犬180頭。1部記念式典、2部全ユニット出発式、3部50周年記念祝賀会の3部で開催した。
- ③ 第2部において、井上理事長が次世代へのメッセージを発表。未来構想（井上ビジョン）として盲導犬コミュニティセンター（仮称）建設準備に入った。

(2) 人材育成

- ① 自由研究およびQCサークル活動を奨励、職員研究発表大会を2017年12月に開催し、12題が発表された。
- ② 同行援護従事者研修に職員5人を派遣し、資格取得した。
- ③ 日本獣医内科学アカデミー学術大会に医療スタッフ2名を派遣した。
- ④ ファンドレイジング基礎講座に職員1名を派遣。准ファンドレーザー資格を1名が取得した。

(3) 東日本大震災支援

被災地域から要請のあったリハビリテーションに対し、在宅訓練として実施した。

(4) 協会ICTインフラの整備

協会ICTインフラの課題点の整理を行い、再整備への対応を行った

(5) 事業継続計画（BCP）

BCPの確認および緊急用品の補充を行った。

(6) 吉川英治文化賞の受賞

「長年多くの盲導犬を育成し視覚障害者に寄り添い社会との共生を目指している功績」として第52回吉川英治文化賞を協会として受賞することが決まった。

Ⅱ. 管理・運営

1. 理事・監事・評議員の状況

総数（平成30年3月31日現在）

理事…12人、 監事…3人、 評議員…10人

2. 理事会・評議員会・常任理事会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

開催年月日	現在数	出席数	議 案	審議結果
2017年 5月22日	12人	10人	第1号議案／2016年度事業報告及び決算報告の件 第2号議案／評議員会 開催の件 第3号議案／常勤役員の報酬額の件	議決 (賛成多数)
2017年 6月23日	12人	10人	報告事項／50周年事業プロジェクト中間報告会	議決ナシ
2017年 11月8日	12人	9人	報告事項／2017年度 上半期事業及び収支報告 報告事項／常任理事の職務の分担執行状況の報告	議決ナシ
2018年 3月19日	12人	10人	第1号議案／2018年度事業計画及び予算の件 第2号議案／役員に関する規程の変更と新設の件 第3号議案／基金に関する規程の変更と新設の件 第4号議案／事務処理規程別表の変更の件 第5号議案／統括管理者の選任の件	議決 (賛成多数)
			報告事項／業務執行理事の職務の分担執行状況の報告	議決ナシ

(2) 評議員会の開催状況

開催年月日	現在数	出席数	議 案	審議結果
2017年 6月23日	10人	7人	第1号議案／2016年度事業報告及び決算報告の件	議決 (賛成多数)
			報告事項／50周年事業プロジェクト中間報告会	議決ナシ
2017年 11月8日	10人	6人	報告事項／2017年度 上半期事業及び収支報告 報告事項／常任理事の職務の分担執行状況の報告	議決ナシ

(3) 常任理事会の開催状況

常任理事会を次のとおり開催し、日常業務の執行及び重要業務の協議決定を行った。

2017年4月17日、5月17日、6月12日、7月28日、8月28日、9月13日、

10月16日、11月17日、12月15日、2018年1月19日、2月16日、3月5日

3. 職員の状況

平成30年3月31日現在の職員の状況は以下の通りである。

センター	部署	男	女	計
東京事務所	総務部	4	6	10
	普及推進部	2	2	4
	センター計	6	8	14
神奈川センター	総務部	2	3	5
	訓練部	5	22	27
	ユーザーサポート部	1	2	3
	普及推進部	1	4	5
	センター計	9	31	40
スマイルワン仙台	総務部	2	2	4
	訓練部	2	9	11
	ユーザーサポート部	2	2	4
	普及推進部	0	2	2
	センター計	6	15	21
富士ハーネス	総務部	1	2	3
	訓練部	3	11	14
	ユーザーサポート部	0	1	1
	普及推進部	2	2	4
	センター計	6	16	22
島根パピネス	総務部	1	2	3
	訓練部	3	5	8
	ユーザーサポート部	0	0	0
	普及推進部	3	0	3
	センター計	7	7	14
職員合計	総務部	9	15	24
	訓練部	13	47	60
	ユーザーサポート部	3	5	8
	普及推進部	9	10	19
	総計	34	77	111
常勤理事		2	0	2

センター長・東京事務所管理長は総務部に含める

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので記載を省略する。

公益財団法人 日本盲導犬協会